

従業上の地位と性別分業意識*

太郎丸 博†

投稿した論文にケチがついたので、追加の分析。

1 目的

性別分業仮説の検討。未婚女性がフリーターになる理由の一つとして、女性自身の性別分業意識があげられる場合がある。将来、専業主婦になろうと思っている場合、無理をしてフルタイムで働く必要がない。それゆえ、性別分業意識が強い（つまり専業主婦志向が強い）女性は、フリーターになりやすいという仮説が本田や内田によって主張されている。このような仮説を性別分業仮説と呼ぶことにする。この仮説が正しいかどうかを検討する。

2 データ

第 12 回出生動向基本調査（独身者調査）（国立社会保障・人口問題研究所が実施）

- 2002 年（6 月 1 日現在の事実を尋ねる）
- 母集団：全国の 18 歳以上 50 歳未満の未婚の男女
- 抽出法：調査地点を国民生活基礎調査の調査地区から 600 抽出し、各調査地点の「調査地区に居住する世帯に属するすべての年齢 18 歳以上 50 歳未満の独身男女」（p.5）を対象とした。「調査客体は国勢調査地区を抽出単位とする 2 段クラスターサンプリングによって抽出されたものである」（p.5）。抽出された地区の全世帯に住む当該年齢の独身男女全員を調査対象としている。
- 回収法：調査員が訪問して調査票を配布し、調査票は回収用の封筒に密封してもらい、後日調査員が訪問して、密封された調査票を回収。訪問留め置き密封回収とでも言うべきか。
- 回収率は $9686/12866 = 75\%$ 。
 - － 対象者数：12866 人
 - － 回収票数：10866 人
 - － 有効票数：9686 人

* Wiki に 2006/10/24 に掲載したものを、Wiki サイトの閉鎖に伴い、pdf 版に変更し、内容も微修正した。

† 京都大学文学研究科, tarohmaru.h@hs2.ecs.kyoto-u.ac.jp。

3 性別分業意識の指標

- あなたの理想とする人生はどのタイプですか。
- 理想は理想として、実際になりそうなあなたの人生はどのタイプですか。
 1. 結婚せず、仕事を一生続ける
 2. 結婚するが子供は持たず、仕事を一生続ける
 3. 結婚し子供を持つが、仕事も一生続ける
 4. 結婚し子供を持つが、結婚あるいは出産の機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ
 5. 結婚し子供を持ち、結婚あるいは出産の機会に退職し、その後は仕事を持たない

4 欠損値

男性、不詳、学生、わからない、35歳以上はすべて欠損値とした。

5 用いる変数

- 年齢 (A): 18～19歳、20～24歳、25～29歳、30～34歳
- 従業上の地位 (J): 正規の職員、パート・アルバイト、派遣・嘱託、自営業主・家族従業者・内職、無職・家事
- 理想のライフコース (I): 継続、一時中断、専業主婦
- 予定のライフコース (P): 継続、一時中断、専業主婦

6 分析結果

6.1 クロス表

表1は従業上の地位と理想のライフコースのクロス表である。この表を見ると、無職・家事は専業主婦を理想とするものの割合が相対的に高い。この点は、性別分業仮説の予測どおりである。しかし正規の職員は仕事を結婚後も継続することを理想とする割合が36%で、最も低い。この点では性別分業仮説の予測に反する。またパート・アルバイトもとりたてて専業主婦志向が強いわけではない。

次に従業上の地位と予定のライフコースの関連を示したのが表2である。自営で継続が相対的に多く、専業主婦が相対的に多い以外はほとんど差がない。目的-手段図式で考える場合、目的は、非現実的なゆめまぼろしではなく、具体的な手段を講じるべき現実的な目標である。そういう意味では、本当に知りたいのは、「理想」と「予定」の中間あたりの意識であろう。

表 1 従業上の地位 × 理想のライフコース

	継続	一時中断	専業主婦	計 (人)
正規の職員	36%	43%	21%	1474
パート・アルバイト	38%	38%	24%	520
派遣・嘱託	42%	37%	22%	161
自営業主・家族従業者・内職	37%	41%	22%	78
無職・家事	37%	29%	35%	237
計 (人)	911	996	563	2470

$$X^2 = 32.3^{**}$$

表 2 従業上の地位 × 予定のライフコース

	継続	一時中断	専業主婦	計 (人)
正規の職員	38%	49%	13%	1426
パート・アルバイト	39%	46%	15%	498
派遣・嘱託	43%	43%	14%	160
自営業主・家族従業者・内職	49%	35%	15%	79
無職・家事	35%	48%	17%	230
計 (人)	924	1135	334	2393

$$X^2 = 9.88 \text{ ns}$$

表 3 理想のライフコース ($N = 2470$) に関する対数線形モデルのあてはまりの良さ

モデル	G^2	df	p	AIC	BIC
[AJ][AI]	49.3	32	0.03	-14.7	-200.7
[AJ][AI][JI]	16.7	24	0.86	-31.3	-170.8

6.2 対数線形モデル

年齢 × 従業上の地位 × 理想のライフコース ($4 \times 5 \times 3$) のクロス表に階層的対数線形モデルをあてはめた。その結果が表 3 である。AIC では [AJ][AI][JI] のほうがあてはまりがよいが、BIC では [AJ][AI] のほうがよい。理想のライフコースを従属変数とした多項ロジットモデルとして [AJ][AI][JI] を表現すると、表 4 のようになる。理想のライフコース意識の効果を見ると、継続を理想とするものに比べると、専業主婦を希望する場合、無職・家事になりやすい。これは性別分業

表4 モデル [AJ][AI][JI] のパラメータ推定値を理想のライフコースを従属変数とした多項ロジットモデルで表現

	パート・アルバイト	派遣・嘱託	自営業主・家族従業者・内職	無職・家事
18～19歳	1.55**	-1.18	0.52	1.07**
20～24歳	0.57**	-0.62**	-0.56	-0.28
25～29歳	0.10	-0.48*	-0.38	-0.23
30～34歳	-	-	-	-
継続	-	-	-	-
一時中断	-0.23	-0.30	-0.08	-0.44**
専業主婦	0.11	-0.10	0.03	0.51**
切片	-1.37**	-1.63**	-2.60**	-1.70**

表5 予定のライフコース ($N = 2393$) に関する対数線形モデルのあてはまりの良さ

モデル	G^2	df	p	AIC	BIC
[AJ][AP]	38.4	32	0.2	-25.6	-210.5
[AJ][AP][JP]	28.5	34	0.24	-19.5	-158.2

仮説の予測どおりなのだが、一時中断を理想とする者のほうが継続を理想とする者よりも無職・家事になりにくい。これは予測に反する。さらに一時中断や専業主婦志望者はとりたててパート・アルバイトになりやすいというわけではない。

さらに、年齢×従業上の地位×予定のライフコース ($4 \times 5 \times 3$) のクロス表に階層的対数線形モデルをあてはめた。その結果が表5である。AICでもBICでもモデル [AJ][AP] のほうがあてはまりがよい。すなわち、予定のライフコースと従業上の地位には関連がない。

7 結論

性別分業仮説はこのデータにはあてはまらない。せいぜい無職の女性は専業主婦を夢見るという程度であり、そのような「夢」は現実的な目標ではない。